

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 16 日 (2009.7.16)

【公開番号】特開 2007-48124 (P2007-48124A)
 【公開日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-007
 【出願番号】特願 2005-233148 (P2005-233148)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 1 7 0 J

G 0 6 F 3/00 6 5 6 C

G 0 6 F 17/30 3 2 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶手段と、

この韓国辞書記憶手段に記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御手段と、

この説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の何れかのハングル文字を検索対象に指定する検索対象指定手段と、

この検索対象指定手段により指定されたハングル文字を先頭とするハングル文字列を前記説明情報表示制御手段により表示された説明情報中から抽出し、この抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する字母決定手段と、

この字母決定手段により決定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶手段から検索する字母比較検索手段と、

この字母比較検索手段により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御手段と、

を備えた表示制御装置。

【請求項 2】

前記字母決定手段は、各ハングル文字ごとに予め定められたハングル文字字母変換規定に従って、前記抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する変換規定字母決定手段を有する請求項 1 に記載の表示制御装置。

【請求項 3】

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶手段と、

この韓国辞書記憶手段に記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御手段と、

この説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の何れかのハングル文字列を字母単位で範囲指定する字母単位指定手段と、

この字母単位指定手段により範囲指定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶手段から検索する字母比較検索手段と、

この字母比較検索手段により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御手段と、
を備えた表示制御装置。

【請求項 4】

前記字母単位指定手段は、

前記説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の任意のハングル文字の字母のうち前記範囲指定の先頭とする字母をユーザ操作に従って指定する先頭字母指定手段と、

前記説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の任意のハングル文字の字母のうち前記範囲指定の末尾とする字母をユーザ操作に従って指定する末尾字母指定手段と、
を有する請求項 3 に記載の表示制御装置。

【請求項 5】

前記説明情報表示制御手段は、ハングル文字ごとに予め定められたハングル文字字母変換規定に従って字母単位で指定可能に前記説明情報を表示させる制御を行う請求項 3 又は 4 に記載の表示制御装置。

【請求項 6】

コンピュータに、

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶機能と、

前記韓国辞書記憶機能により記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御機能と、

この説明情報表示制御機能により表示された説明情報中の何れかのハングル文字を検索対象に指定する検索対象指定機能と、

この検索対象指定機能により指定されたハングル文字を先頭とするハングル文字列を前記説明情報表示制御機能により表示された説明情報中から抽出し、この抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する字母決定機能と、

この字母決定機能により決定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶機能から検索する字母比較検索機能と、

この字母比較検索機能により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御機能と、
を実現させるためのプログラム。

【請求項 7】

コンピュータに、

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶機能と、

前記韓国辞書記憶機能により記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御機能と、

この説明情報表示制御機能により表示された説明情報中の何れかのハングル文字列を字母単位で範囲指定する字母単位指定機能と、

この字母単位指定機能により範囲指定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶機能から検索する字母比較検索機能と、

この字母比較検索機能により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御機能と、
を実現させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明の表示制御装置は、

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶手段と、

この韓国辞書記憶手段に記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御手段と、

この説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の何れかのハングル文字を検索対象に指定する検索対象指定手段と、

この検索対象指定手段により指定されたハングル文字を先頭とするハングル文字列を前記説明情報表示制御手段により表示された説明情報中から抽出し、この抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する字母決定手段と、

この字母決定手段により決定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶手段から検索する字母比較検索手段と、

この字母比較検索手段により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御手段と、

を備えることを特徴としている。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 2 に記載の発明の表示制御装置は、請求項 1 に記載の表示制御装置であって、前記字母決定手段は、各ハングル文字ごとに予め定められたハングル文字字母変換規定に従って、前記抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する変換規定字母決定手段を更に備えることを特徴としている。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

請求項 3 に記載の発明の表示制御装置は、

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶手段と、

この韓国辞書記憶手段に記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御手段と、

この説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の何れかのハングル文字列を字母単位で範囲指定する字母単位指定手段と、

この字母単位指定手段により範囲指定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶手段から検索する字母比較検索手段と、

この字母比較検索手段により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御手段と、

を備えることを特徴としている。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

請求項 4 に記載の発明の表示制御装置は、請求項 3 に記載の表示制御装置であって、
前記字母単位指定手段は、

前記説明情報表示制御手段により表示された説明情報中の任意のハングル文字の字母のうち前記範囲指定の先頭とする字母をユーザ操作に従って指定する先頭字母文字指定手段と、

前記明情報表示制御手段により表示された説明情報中の任意のハングル文字の字母のうち前記範囲指定の末尾とする字母をユーザ操作に従って指定する末尾字母指定手段と、
を更に備えることを特徴としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

請求項 5 に記載の発明の表示制御装置は、請求項 3 又は 4 に記載の表示制御装置であって、

前記説明情報表示制御手段は、ハングル文字ごとに予め定められたハングル文字字母変換規定に従って字母単位で指定可能に前記説明情報を表示させる制御を行うことを特徴としている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

請求項 6 に記載の発明のプログラムは、
コンピュータに、

ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対応づけて複数記憶している韓国辞書記憶機能と、

前記韓国辞書記憶機能により記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御機能と、

この説明情報表示制御機能により表示された説明情報中の何れかのハングル文字を検索対象に指定する検索対象指定機能と、

この検索対象指定機能により指定されたハングル文字を先頭とするハングル文字列を前記説明情報表示制御機能により表示された説明情報中から抽出し、この抽出されたハングル文字列に対応する一連の字母を決定する字母決定機能と、

この字母決定機能により決定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶機能から検索する字母比較検索機能と、

この字母比較検索機能により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御機能と、

を実現させることを特徴としている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項7に記載の発明のプログラムは、
コンピュータに、
ハングル文字からなる見出語と、見出語字母列と、ハングル文字を含む説明情報とを対
応づけて複数記憶している韓国辞書記憶機能と、
前記韓国辞書記憶機能により記憶されたいずれかの見出語に対応する説明情報を表示させる制御を行う説明情報表示制御機能と、
この説明情報表示制御機能により表示された説明情報中の何れかのハングル文字列を字母単位で範囲指定する字母単位指定機能と、
この字母単位指定機能により範囲指定された一連の字母と前方一致する見出語字母列を前記韓国辞書記憶機能から検索する字母比較検索機能と、
この字母比較検索機能により検索された見出語字母列に対応する見出語を表示する制御を行う見出語表示制御機能と、
を実現させることを特徴としている。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項1に記載の発明によれば、ハングル文字を構成する各字母列に従って適切な検索
を実行することができる。請求項7に記載の発明も同様の作用効果を奏する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】